

社会福祉法人小百合苑
平成30年度事業計画書

小百合苑

所在地 大阪府門真市古川町7番3号

理事長 大西正隆

法人理念 子どもの最善の利益を考える 誇りと責任を持って真心保育を実践する
子どもの成長発達を支える 保育を通して福祉に邁進する
子育てに関わる社会的役割を果たす

法人事業 第二種社会福祉事業
イ) 放課後児童健全育成事業 門真市立古川橋小学校放課後児童クラブ
門真市立門真小学校放課後児童クラブ
ロ) 一時預かり保育事業 古川園 柳町園
ハ) 養育支援訪問事業 古川園
ニ) 幼保連携型認定こども園 古川園 柳町園
法人の姿勢のあり方を見直し、透明性の高い、地域に受け入れられる法人経営をする

規程整備等

- ・就業規則は法改正に沿って変更する 門真市個人情報保護条例に基づいて管理する
- ・法人のホームページを作成する

人事異動

	古川園	柳町園	古川橋児童クラブ	門真児童クラブ
採用 30年4月		池上 坂本 千代田 馬場 宮崎 岩崎 山本	柏原	豊田 谷口 嶋野 山内
異動入職	東(古川橋児童より)		廣内(非常勤)	
復職	廣内(非常勤)	芝	樋口	
休職		丸元		
転換		安藤(非常勤)		
派遣職員	田畑 馬明			

- ・待機児童解消のため小規模保育所の認可、8月開園に向けて準備する。小規模職員は4月より2ヶ園で勤務する。

職員研修

- ・法人研修 4/7 伊丹昌一氏「すべてのこどもを活かす保育」 5/19 門真市こどもの未来応援団
- ・地域公開子育て講座 12/1 金泰子氏 (仮)行動や身体症状にあらわれるこどもの心の理解
- ・保護者対応の言葉遣いやマナー、分かりやすく明確に伝える力をつける。保育サービスを提供する側、受ける側の価値観や考え方のギャップを意識し対応する。
- ・新任職員の育成に取り組む。養育のケースに対応するスキルを身につける

相談・苦情処理 各事業所に解決責任者・受付者を置き、虐待防止委員も兼ねる。

	古川園	古川橋小学校 児童クラブ	柳町園	門真小学校児童 クラブ
苦情解決責任者	古川園園長 大西潤子		柳町園園長 大西宏幸	
苦情受付者	主幹保育教諭 秋山尚美	主任 阿部利香 古川園副園長 藤岡里実 主幹保育教諭 秋山尚美	主幹保育教諭 眞野千恵美	主任 平田玲子 柳町園副園長 大西佐知子 主幹保育教諭 眞野千恵美

- ・苦情解決の体制を保護者に周知する
- ・保護者の意見を先入観なく聞く。各事業所で公表・謝罪等、善処に向け迅速に丁寧に対応する。頂いた声・対応を公表し、アンケート結果を計画に反映する。

福利厚生

- ・法人内事業所、労働者が増え、社会保険加入を法人単位から、拠点加入への切替えを検討する。
- ・働き方改革。業務の明確化を図り、意識改革。従事者の立場に立ち、法人内で長く働く事が出来るよう働きやすい労働環境を整える。
- ・心身共に安心安全な職場づくりを目指す。健康維持に取り組む(メンタルヘルス、B型肝炎ワクチン等費用負担)
- ・健康診断受診機関の変更 オプション受診項目の増加で職員の健康を支える
- ・慰労会 観劇会 職服 合同歓送迎会

虐待防止・機関連携

- ・法人職員は児童福祉に関わる職務を自覚し、体罰など子どもへの不適切な対応を行わないよう防止・早期発見に取り組む
- ・各事業所の虐待防止委員を中心に虐待に対応できる体制を整え、不適切な養育や虐待を受けていると疑われるこどもの早期発見・防止に努める
- ・市各機関・子ども家庭センターと連携し、門真市の抱える子育て事情に対応、努力する。
- ・こども未来応援団養成講座を招き、呼び門真のこどもの現状を理解し、貧困対策、子ども食堂等、居場所づくりに努める。

法人内交流

- ・法人内施設交流 職員のスキルアップ、及び、こども達の交流の場を作る

危機管理

- ・災害・事件発生等の非常時は行政・警察の指示に従い、待機・避難等対処する
- ・浸水想定区域内であることを理解し、非常災害対策計画を見直す 南海トラフ地震に備える
- ・近隣地域の事件発生時はすみやかに防犯対策を取る
- ・事故ゼロ、怪我ゼロ、安全対策の徹底 発生原因究明と対策を講じる。月初めに安全点検

幼保連携型認定こども園事業 古川園・柳町園

保育方針

一人ひとりのこどもを大切に、明るい笑顔、優しい言葉をモットーに家庭的な雰囲気の中で真心のある保育を実践します

保育目標

よく見て、よく聞いて、よく考える子
心身共に健やかな子 思いやりのある心豊かな子

保育計画

子どもの最善の利益を考える
一人ひとりの個別計画の下に成長発達を支える
子どもの立場や思いを理解し、楽しい園生活を保障する
叱らない 教える保育、喜びを感じる保育の推進
子どもの人権を守る（いじめ、仲間はずれ、懲戒等はしない、させない）

保育サービス 子どもの権利条約を認識し子どもの健やかな成長を目指す

年齢	認定	古川園	柳町園
1号認定3・4・5	教育時間	9:00～14:30	9:00～14:00
2号認定3・4・5	短時間利用	8:30～16:30	8:30～16:30
3号認定0・1・2	標準時間利用	7:00～18:00	7:30～18:30
開門時間		7:00	7:30
閉門時間		19:00	20:00

- ・保育サービス開始 重要事項説明書を説明し、同意を得たうえで保育を開始する
- ・乳児保育 3ヶ月から
- ・一時保育 6ヶ月以上～就学前 子育て中の家庭・保護者を支援する保育サービス
- ・障がい児保育 障がい・生活のしづらさ、困っている子を理解
- ・1号認定児預り保育 土曜・春夏秋冬季休暇中の預かり保育は、1日100円（9時～14時30分）
給食費は別途。14時30分を超えた場合は延長保育料が加算される。
- ・30年度門真市4・5歳児保育料無償化。該当する学年の1号認定児の超過保育料等を見直す。
- ・学校施設関係者評価 評価委員を行事や研修に招き、施設の取り組みを理解してもらう。評価会議し、自己評価シートを公表する。保護者の意向を汲み自己評価を基に保育の質を高める。

地域貢献事業

- ・地域の子育てに関わる社会的役割を果たす。地域貢献の実績を積む 地域の虐待児早期発見、介入に努め、公的機関及び、専門職につなげる。地域貢献支援員研修終了者増員をめざす。
- ・園庭開放・親子保育・一時保育児の子育て相談・発達相談・こども食堂・地域の虐待児対応
- ・親子絵本ふれあい事業・赤ちゃんの駅事業の定着を目指し、園行事への参加を呼びかける

	古川園	柳町園
園庭開放・育児相談	木・土曜日 10:30～13:00	水曜日 10:30～11:30
親子保育・身体測定	第2木曜 11:00～12:00	水曜日年9回 10:30～11:30
なかよし広場出張保育	9/4 2/5	11/6 2/19
こども食堂	ターゲット型 土曜日 30回 11:30～14:00	ユニバーサル型 土曜日 11:30～12:30
地域貢献支援員 スマイルサポーター	秋山 松成 平井 富永 淡路 倉本 寺田 福本 寺馬	大西佐 眞野 橋田

職員資質向上

- ・幼稚園免許状更新、処遇加算にむけたキャリアアップ研修の費用を負担し、積極的に支援する。
- ・スマイルサポーター・幼児教育アドバイザー養成講座等研修の充実、保育の質の向上を目指す。
- ・PS(Planning Section)・CS(Customer Satisfaction)・危機管理・保健・食育に分かれてスキルを磨く

保育内容 PS(Planning Section) 子どもの活動・行事他

- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂の年。「生きる力」「社会情動スキル」を伸ばすための保育・教育を考える。
- ・園内管理ソフトがこども園要録とリンクするようになり、年度ごとの記録のとり方を再考する。
- ・乳幼児期の教育施設としてこどもの最善の利益を追求し、保育技術と知識の向上をめざす。
- ・一人一人の子どもの生育歴・心身の発達及び活動の実態に即し、個別計画を立てる。
- ・家庭と共に自己肯定感の向上を目指す。
- ・言う力、聞く力を育てる
- ・要保護児童・加配児童について各機関との連携を取り、子どもを取り巻く環境、生活の保障、安全を守る。
- ・精神疾患、障がいのある保護者、児童虐待、DV家庭、不登園児、課題を持つ地域の家庭への理解を深め対応できるスキルを身につける。
- ・環境設定、玩具の特性・あそび方・片付け方、異年齢保育、読み聞かせ方法を研究する
- ・小学校との交流や保育園・幼稚園・小学校連携会議に積極的に参加する
- ・発達相談・門真市巡回指導 巡回指導が定着し、ひとりひとりの発達に合わせた関わりの手法を学ぶ。行政への連携が強まる。

CS(Customer Satisfaction) 保護者・連携

- ・クラス、個人懇談を設け保護者の声を聞く、保護者アンケート結果を考慮し計画を立てる。
- ・自由参観期間に給食試食希望の保護者に提供し、アンケートをとる。

危機管理

- ・大型地震災害に備え、保護者への連絡方法・園児受け渡し方法等整える。帰宅困難時に備え、1泊分を目安に備蓄。非常時は地域の子どもを含めた保育を特化した地域の拠点となる。
- ・避難訓練毎月1回 年1回二次避難場所移動訓練 古川園/古川橋小学校 柳町園/速見小学校
- ・門真警察 園児交通安全・防犯指導 誘拐・不審者から身を守る訓練 門施錠、門番の配置、

- ・門真消防署 火災・地震指導 消防車・起震車を招き、防災を学ぶ
- ・学期毎の防犯訓練 ビデオ撮影し、職員の研究課題として使用

保健 嘱託

内科	歯科	眼科 (柳町園のみ)	薬剤師
堺医院(堺昭彦医師)	堤デンタルクリニック(佐原起志子医師)	川上眼科(川上剛医師)	溝端裕巳

- ・職員が体液に触れる機会が多く、感染リスクを理解し、予防策を講じるよう職員指導をする。継続して肝炎ワクチン接種を続ける。
- ・門真市保育幼稚園課・病児保育室共催の「門真市就学前教育・保育施設等研修会」を受講し、門真市の乳幼児施設の対処法に揃える。
- ・感染症の保育再開時の医師の意見書は、引き続き門真市教育委員会様式を提出して頂く。
- ・感染症マニュアル・一覧の見直しと園内研修。感染症流行の兆しがみられた際は園の対応を保護者に周知する。厚生労働省・大阪府・門真市が提示するガイドライン・要綱等に則って対処
- ・病後児・有症状児(発熱・下痢・嘔吐等)の保育を個々に対応する。職員が有症状のときは、感染媒体とならないように、症状が治まってから2日間、配膳業務・食事介助を控える
- ・感染症罹患児「医師の意見書」提出。サーベイランスシステム入力し、市役所へ報告
- ・感染症流行期は、マスク着用、玄関前アルコール手指消毒、登園時、職員出勤時検温実施。
- ・歯科健診・内科健診・眼科健診(柳町園のみ) 身体測定
- ・ケガ、病気等、緊急事態発生時には保護者との連絡を密にする。かかりつけ医を把握する。
- ・保健計画に基づき、衛生習慣(歯磨き、手洗い、鼻を拭く、爪を切る等)の保健指導をする。
- ・衣類などに汚物が付着した時は微酸性水で殺菌する。

食育

- ・ウオクニ株式会社に給食業務委託 毎月栄養士と給食会議を実施 門真市立保育所の給与目標栄養量を基準に献立作成する。安全な食材選び、こどもが喜ぶ満足する給食を目指す。
- ・アレルギー対応は「保育所等におけるアレルギー疾患生活管理指導表」を6ヶ月毎及び、変更時に診断書の提出を求める。診断内容をもとに栄養士が除去食献立を作成。担任、保護者が確認し、変更なければ献立提供。除去食配膳は専用トレイ・食器を使用し、盛付者、配膳者、担任のチェックを通し、提供直前まで個別ラップ包装する。
- ・メニューのサンプルを陳列。食育だよりの発行・給食便りにレシピを掲載
- ・楽しい食育行事を企画する。(野菜植え・クッキング・収穫祭等)
- ・朝食抜き0作戦実施 小児生活習慣病、偏食、欠食児童をなくすよう家庭と共に取り組む。
- ・アレルギー児童がみんなと同じ給食メニューで食事できる、アレルギーのないメニューの導入
- ・借用地でのさつま芋栽培、園庭で夏冬野菜の栽培。栽培した野菜でクッキング保育を行う。

養成校連携・その他

- ・大阪福祉人材支援センター潜在保育士体験実習・高校生のための保育の職業体験事業等に協力
- ・保育実習生・ボランティア、小中学生職業体験、ソーシャルメディアについて説明する。

古川園

所在地 門真市古川町7-3 (法人本部と同じ)

	園長／大西潤子	副園長／藤岡里実	主幹保育教諭／秋山尚美	松成晋一
0才15名ひよこ組	石橋	久保	西田	寺馬 丸山
1才児24名りす組	富永	倉本	本吉	田中裕 田畑
2才児27名にじ組	平井	山本	所	富本 福本
3才児32名ほし組	小長谷	清水	時田	
4才児32名つき組	淡路	伊藤		
5才児32名そら組	江口	朝山		
講師	体操：小笠原	音楽：大崎	英語：作田	茶道：古川

諸費用

	1号認定児		2号		3号認定	
入園時納付金	施設整備費 10,000円 研修充実費 10,000円		なし		なし	
主食費	給食費月額 3,000円		月額 2,000円		なし	
教材費	月額 1,000円		月額 1,000円		なし	
クラス活動費	4歳 500円/月 保護者会費 春・秋の遠足 他 5歳 1000円/月 (4月 2000円) 保護者会費 遠足 5回 (お泊り保育・雪山遠足等)				なし	
保護者会費	年間 2,400円 (夏祭りチケットなどは随時徴収)					
延長保育料 1日	～17:00	～17:30	～18:00	～18:30	～19:00	19:00～
1号認定	50円	100円	150円	200円	250円	1000円
保育料無償化 1号認定				150円	200円	1000円
保育短時間	50円	100円	150円	200円	250円	1000円
保育標準時間				150円	200円	1000円

保育内容 PS (Planning Section) 子どもの活動他

- ・クラス名変更

0歳ひよこ組	心の安定、楽しい日々、穏やかな静かな環境の中で生きる力を育む
1歳りす組	のびのびと楽しく、遊びの中で学べる保育
2歳にじ組	一人ひとりの個性を尊重し、応答的な関わりを通して安心できる保育を目指す
3歳ほし組	毎日笑顔で楽しく過ごす 思いやりのある優しい言葉が聞こえるクラス
4歳つき組	何事もあきらめないで挑戦する 毎日楽しく笑顔で過ごす 挨拶、食事、片づけ等の基本的な生活習慣を身につける
5歳そら組	何事にも意欲的に取り組むなど非認知能力を高める 思いやりの心を大切にし、友達と協力してやり遂げる楽しさを感じる
一時保育	一日笑顔で過ごす 地域の子育てを支える

- ・笑顔を引き出す保育 (いじめ 体罰 懲戒のしつけ はやしたてる 大声 指示 命令語は使わない)
- ・要配慮児・要保護児の個別支援計画に保護者の思いを組み、見直す。

研究課題

- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領改訂の施行を踏まえ、こどもの健やかな成長にふさわしい教育及び保育のあり方を理解する。「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」の視点から見直した教育・保育課程を30年度の保育に実践、振り返り、研究する。
- ・自由保育と設定保育のメリットデメリットを研究する。保護者の期待も考慮し、古川園らしい幼児クラスの保育形態を模索する。乳児保育・担当制についてさらに深める
- ・自分のことが好きになるよう、自己肯定感を高める関わりを増やす。
- ・地域力を高める。こどもの居場所づくりや災害時の共助の視点で、小学校、自治会等、地域組織とのつながりを深める。
- ・利用者・送迎者への情報提供の仕方を検討し、園の情報発信力・周知力を高める。
- ・早寝・早起き・朝ごはん・朝の身支度（洗顔・歯磨き他）等もう一度基本生活習慣を徹底する。
- ・インリアル(コミュニケーション法)を学ぶ。Calm 穏やかに Close 近づいて Quiet 小さな声でこどもとのコミュニケーションを深める。
- ・中間就労対象施設・養育支援訪問事業の引き続き準備をする
- ・職員の一体感をさらに高める。相互のけん制力を保ちながら、保育技量を向上させる。

CS(Customer Satisfaction) 行事計画

- ・保護者アンケートの結果は園からの返事とともに玄関掲示し、風通しの良い施設を目指す
- ・個人懇談、新入児面接等、保護者面談は情報共有や正確に把握するため職員2名体制で行う

危機管理

- ・メディアの使い方、管理について、リスクを理解し、職員意識を統一する
- ・防災計画を見直す。園所在地の災害時の弱さを全職員が理解する

保健・食育

- ・「保育所における感染症の知識と対応」を基に、有症状時対応を全クラス統一。集団発生を防ぐ。
- ・保健行事 幼児が理解できる保健遊びを企画 手洗い・歯の磨き残しチェック等
- ・配膳シフト・アレルギー確認票作成 初めて食べる食材・分量を警戒し、アナフィラキシー対応をマスターする。
- ・委託会社を巻き込んだ食育イベントを企画する。魚の解体ショー 季節の食材皮むき

地域子育て支援

- ・年30回スクールランチデー(ターゲット型子ども食堂)。気になるご家庭、来てほしい子を対象に食事と遊びの場の提供、宿題支援、居場所づくりを古川町自治会と連携しながら進める。
- ・待機児童対策 最低基準の壁があり、定員以上の園児の受け入れはせず、一時保育で対応する。
- ・地域の子育て家庭と共に楽しめる行事を毎月企画。第3木曜日2歳児クラス交流保育をする
- ・速見校区福祉委員会・自治会館等の地域子育て広場に出張保育をする。

施設整備その他

- ・外壁塗り替え工事
- ・医療事業団償還金支払最終年度
- ・産休職員が多くなる見込み。代替職員確保、保育の質の保持に尽力する。

柳町園

所在地 大阪府門真市柳町14番10号

園長：大西宏幸		副園長：大西佐知子		主幹保育教諭：眞野千恵美 橋田裕子	
乳児クラス	0歳児 ミント組	15名	芝 川上 武部 馬場 山田		
	1歳児 クローバー組	15名	金本 奈良 北井		
	1歳児 オリーブ組	15名	澤田 千代田 上村 上田		
	2歳児 ジャスミン組	30名	西田 茶谷 岸田 池上 須本		
幼児クラス	3歳 ローズ組	35名	古川 京本 諸本 坂本 宮崎 岩崎		
	4歳 マリーゴールド組	33名	前川 永井 大西		
	5歳 ラベンダー組	35名			
一時預保育	異年齢 ユーカリ組	藤村 山本			
看護師	大橋さなえ		児童クラブ兼任	平田 佐伯	
フリー保育教諭	安藤 岡田		保育補助	上野 丸尾 本田 清住	
育休	丸元		お話会	門真市立図書館ボランティア	
講師	徳井佑太（体操）		古川加代子（茶道）		吉田愛弓（正課指導）

保育サービスの変更点 諸費用の徴収方法の変更 実費徴収を減らす。

- ・主食費の値上げ¥1,200→¥1,500 諸費用の値上げ遠足代1回¥500→¥600
- ・土曜行事を今年度は2日減らす。
- ・4歳児5歳児無償化に伴い延長保育料の徴収の一部変更。

延長保育料/1日額		～16:30	～17:30	～18:30	～19:00	～19:30	時間外～20時
1号	教育	50円	100円	150円	200円	700円	
2・3号	短時間		100円	150円	200円	700円	
	標準				200円	700円	1200円
1・2号 無償化対象	短時間		100円	150円	200円	700円	
	標準				200円	700円	1200円
1号預かり保育		土曜・春夏秋冬期休暇中の預かり保育は 1日100円（9時～14時迄） 給食費は別途。14時30分を超えた場合は延長保育料が加算される。					

待機児童解消対策 門真市の意向に沿う

- ・柳町園の受け入れ人数枠を今年度は1歳児24名→30名 2歳児28名→30名を増やす。
- ・今年度内に古川橋駅前ビル3階に小規模保育園（仮称ブリスガーデン）8月開園予定。

保育内容 PS(Planning Section) 子どもの活動他

- ・柳町園の保育の質を維持向上する為、「やなぎスタイル」を全職員が向上心を持って対応し、「愛されるこども園」をテーマに進める。
- ・到達目標ではなく方向目標を持って非認知スキルを育む保育・教育を行い、子どもの「いまここ」の姿をとらえる力を身に付ける。引き続き異年齢の生活、保育・教育に力を入れる。
- ・乳児は0,1歳児の少人数クラス担当制をブラッシュアップする。2歳児は担当制をより細分化し一人一人のかかわりを大切にする保育を再考する。乳児期からの言葉にならない心もちを受

け止める保育や、共感的かかわりと同情的かかわりを熟知し、解釈の違いを学ぶ。

- ・「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を育む活動内容を研究し、私たちから子どもへ「育てたいと思える姿勢、アプローチ」を身に付ける。
- ・各年齢に合わせた「手伝いすぎない手助け」の塩梅を保育教諭が学習し、子ども自身がより意欲的に活動や生活習慣の獲得ができるよう保育の質を高める。
- ・現在柳町園が受託している要保護児童・加配児童について各機関との連携を取り、定期的なモニタリングを行い、報告検討会議をしながら子どもの取り巻く環境、生活の保障、安全を守る。

CS(Customer Satisfaction)行事計画

- ・講師を招いての園内職員研修会。
- ・園児や地域の子育て家庭と共に楽しめる行事を企画する。
- ・昨年行った異年齢での行事への取り組みは、反省点を踏まえ、今年度もより良い形を目指す。
- ・平日行事の取り入れ方を考える。

食育

- ・アレルギー疾患生活管理指導表とウオクニ株式会社作成のアレルギー除去診断表を使用し、誤食や誤配がないよう安全対策の強化をする。
- ・子育て支援室の活用。クッキング以外にも、日常的に幼児が給食を食べる場所として利用する。

保健

- ・内科検診(年2回)、歯科検診(年1回)、眼科検診(年1回)、発育測定(月1回)、視力検査(年2回)、尿検査(1回)。インフルエンザ等感染症等の対策。看護師からの月1回保健だよりによる健康に関する知識を家庭に周知する。

地域子育て支援

- ・園庭開放日を毎週水曜日と土曜日(隔週)、地域交流会を毎月第1水曜日に行う。
- ・子育て支援室を活用し地域の親子が利用しやすい環境へ。
- ・「子ども食堂」を通して親子の交流の機会を与える。園周辺の小学校の子どもが利用する事により、安全の場となるように、何時でも何かあったら声がかかりやすい状況を作っていく。食堂を利用する大人が積極的に運営に参加し、自然に地域の子どもに関わり顔見知りを増やす。

施設整備

- ・更に子ども達が自然に触れ活動が豊かになるよう園庭の環境整備と室内遊具の購入をすすめる。
- ・将来に備えて、施設整備修繕の積み立てを継続。
- ・柳町園園舎保守点検後の整備。 ・小規模保育事業の予算決定。

その他

- ・新任7名採用し職員間での環境が大きく変わる。保育の質の低下を防ぎ、より働き心地の良い園となるよう労働環境改善に努める。業務の明確化を図り、小規模保育園への人事異動もある為、職員の仕事に対する熱意や充実感を削がない形で残業時間の削減などの働き方改革、意識改革に努める。

青少年健全育成事業

古川橋小学校放課後児童クラブ・門真小学校放課後児童クラブ

設置目標

児童に適切な遊びと生活の場を整え、異なった学年による児童の集団活動を推進することにより、放課後における児童の健全育成を図る

クラブ方針

- ・子ども達が楽しいと思えるような時間と場所を常に用意する。
- ・職員が丁寧に学習指導する。静かな落ち着いた雰囲気の中で子どものあそびと基礎学力を補う

	古川橋小学校放課後児童クラブ	門真小学校放課後児童クラブ
所在地	門真市御堂町 18 番 9 号	門真市柳町 4 番 1 号
定員・クラブ数	80 名 2 クラブ	120 名 3 クラブ
最大受入人数	158 名	138 名
4 月入会者	105 名	134 名
配慮児	11 名	5 名
主任児童支援員	阿部利香 田中優	平田玲子
副主任児童支援員	彦坂美登里 阪本真里奈	山ノ内愛紀 森本愛
児童支援員	那須英子 松原文代 吉山あすか 蓑島明子 野口美千与 宮地律子 柏原庸子	向原千可 森信次郎 米澤郁子 内川恵 山内美知以 嶋野みやこ
加配担当支援員 補助員	喜田富美子 三浦勝	上田郁子 藤田典子 岩永寛子 佐伯寛子 菊池多恵子 前川兼士朗 鈴木悦乃 大塚知里 谷口智美 豊田奈緒
委託期間	29～30 年度 11 年目	29～30 年度 2 年目
大阪府放課後児童支援 員認定資格研修受講者	阿部利香 田中優 湯川真里奈 那須英子	山ノ内愛紀 森本愛
〃 30 年度受講予定者	野口美千代 彦坂美登里	平田玲子 藤田典子

事業内容

- ・平成 30 年度で現在の受託期間が終了し、平成 31 年度以降の事業について事業者選考がある。次期仕様書が 19 時まで開所となる見込みで、大幅な赤字が予想される。事業継続申請するか、撤退か検討する。
- ・門真市立門真小学校放課後児童クラブ事業開始し、ようやく落ちつきだした。古川橋小学校放課後児童クラブ主任が引き続き 30 年度も、提出書類、保護者配布物等をサポートする。
- ・委託仕様書でクラブ室面積による最大受入れ人数を設定され、定員を大幅に超えた入会者数。
- ・小学校授業日の午前中は阿部・田中・廣内は古川園で、平田・佐伯は柳町園で勤務する
- ・古川橋・門真小学校の 2 クラブの交流やそれぞれの地域の方との交流をもつ
- ・大阪府放課後児童支援員認定資格研修受講に割り当てられた 2 名枠を毎年順番に受講する

クラブ内容・活動・行事

- ・こどもを尊敬の対象として見る事ができる。こどもの人権を守る大人がいる
- ・放課後の児童の居場所を確保し、もうひとつの家庭としての役割を担う
- ・活動時間 授業終了後～18時 休校日は8時30分～18時
- ・障がい児保育 友達として共に育ち合うよう個々の成長促進 ケース研究、研修に参加する。
- ・クラブ室エリアの花壇・プランターを子ども達と手入れをし、季節感や草花・野菜の成長に関心をもつ。
- ・夏祭り・クリスマス・もちつき等の季節行事や制作を企画する。

食育・保健

- ・アレルギー児の誤食を防ぐためおやつは必ず二人で対応、確認を徹底する。緊急時対応のエピペン訓練、救急車通報訓練・小学校と連携。
- ・感染症予防を徹底し、蔓延を阻止。門真市要綱のもと学級閉鎖対象児はクラブ参加させない。

危機管理・苦情

- ・学校集団下校・児童クラブ集団下校・保護者迎いの確認を徹底する。また支援員全員が校区を把握し、緊急時には対応できるようにする。
- ・4・9・1月避難訓練 避難経路の確認 不審者情報が入れば、学校と連携し付き添い下校。
- ・ケガ、病気等、緊急事態発生時には保護者との連絡を密にし、市役所へ報告する。危機管理を全職員がしっかり把握し、実践できるよう日々の話し合い・クラブ内研修をする。

古川橋小学校放課後児童クラブ

- ・全校生徒 240 名の小規模校に最大受入数 158 名。支援学級入級者の多くが在籍し、支援学級、行政と共に課題のある家庭を支えている。急な退会が生じたときに、委託料や職員配置に直結する事業運営の難しさがあり、所轄庁の門真市役所子育て支援課に引き続き申し立てる。
- ・当番活動や、行事を通して児童間『縦のつながり』が深まる活動を計画する。
- ・支援員それぞれが責任をもつことを意識して、持ち場を担当する。
- ・温かな食事を大勢で囲む体験が持てるよう手作りおやつ食事に力を入れる
- ・定年退職した小学校教諭を支援員として迎え、高学年の学習対応を強化する
- ・古川園のこども食堂・居場所づくりをサポートする。

門真小学校放課後児童クラブ

- ・配慮児童の卒業により次年度の収入が減り、配置人数も減少するため支援員の就業状況を見直す。シフトに沿って勤務するよう支援員の意識改革。
- ・事業を軌道に乗せる、児童・保護者の不安を解消できるよう丁寧に対応する。
- ・初年度の大幅な赤字から事業継続を慎重に考える。
- ・定員 120 名を超える大人数だが、人数に見合った運営条件が用意されておらず、特にランチルームの時間的な用途制限が支援や配置の難しさになっている。3 クラスの専用化を依頼し、それが難しいようであれば収容規模に見合った配置基準を申し立てる。
- ・支援員全員が意識統一できるよう、毎日ミーティングをする。
- ・障害のある保護者との対応力を高める。